10 月の定例教育委員会のお知らせ

◆日時/10月17日休 15時から ◆場所/第2委員会室(自由に傍聴できます)

◆問い合わせ/教育振興課 総務係 **☎**0952−75−8022



多久から発信!SDGs⑮

紫式部・和泉式部・小

式等

の 物

語

挿絵

6

多久家資料『小しきふ(小式部)』を編集

「SDGsは小さな積み重ねから」

東原庠舎中央校 9年1組 嶺a 川かわ

調べるほど、深刻な問題だと改めて気づかされました。 や川にポイ捨てする人が増え、 ジ袋・ストローなど軽量の容器に加工できる反面、 チックなどのゴミが入っていたというニュースです。 そのクジラの胃の中には一〇〇㎏という大量のプラス どが沢山散乱していました。この時にふとあるニュー そこにはペットボトル・ビニール袋・食べ物のゴミな まう可能性も高いというデメリットも多く、 るようです。また、汚染された魚を私たちが食べてし 生物が食べ、死に至るという事例も沢山報告されてい スを思い出しました。海洋でクジラの死体が見つかり、 かけました。きれいな青い海というイメージとは違い 経済成長に伴い、プラスチックはペットボトル・ コロナ禍を経て、今夏私は久しぶりに唐津の海へ出 汚染された物質を海洋 調べれば 海

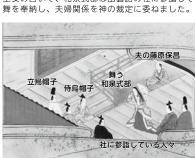
いています。私のクラスでは、 使わない取組を行っています。まず と消費することを止めるために、マイボトルを持ち歩 習慣づいていると思います。私はペットボトルを次々 マイバックの持参も今ではあたりまえの世の中になり、 み重ねも習慣となり、世の中も変わっていくはずです。 と思います。一人ひとりの意識が変われば、 かすという現実を知り、真剣に伝えていく必要がある 安易にポイ捨てすることが私たちの命さえもおびや 30人全員がストローを 小さな積

は、私たちが住む町・多久市民の方々 を習慣にしてほしいと思っています と思いました。そして、 海の現状や私の取組を伝えたい 小さな取組

和泉式部が祈願する話

『小式部(上)』挿絵6

巫女の占いで、和泉式部は出雲路の社に参詣して 舞を奉納し、夫婦関係を神の裁定に委ねました。



仲睦まじくなられた、と物語は記しています ました。保昌も感に耐えかね走り出て、舞姫を抱き我が宿所へ帰り、 行いをしているのです)と詠じました。 すると神様も気の毒とお思い ることをするでしょうか 私は噂が嘘であることを認めて欲しく 苦しい 神様が私を見る目も 恥ずかしいことです 身を守るため 我が身を痛め まるで天人のようで、 なられたのか、和泉式部の潔白を受け入れ、参詣の人々も感涙を流し 楊柳が春風になびくがごとく、 和泉式部は袖をひるがえし、 〔千早ぶ 神の見る目も 恥づかしや 身を思ふとて 身をや病ままし] (霊験ある 社の中は澄み渡りました。[挿絵6]

※原本の挿絵は色絵になっています。郷土資料館に写真を掲示しています ので、お立ち寄りの際にご覧ください。 多久市郷土資料館長 藤井岬の

短 歌 《麦の芽短歌会 互選》

夫言 我が家なら 自分勝手も 許される の居る 病室出でて 帰るさの 入院している 夫が気になる 梶原恵美子

●見守る娘と そを受くる我とが あざなえる 残照の空 積み雲高し

●この星に 僕は生まれた ありがとう

我老いたりの 孤独の隙間

期に、物語は次のような展開を見せます

八坂の巫女を呼び占いをしたところ、

「節分の夜には夫婦のことを定

菜園に

サイレン届く

・ 終戦 富^な

り合いだった和泉式部の恋を見舞い、互いに和歌の贈答を行っていた時

平安時代中期の歌人赤染衛門も中宮藤原彰子に仕えていました。

句 《大石ひろ女選》

伝承の 音色澄みたる 秋祭 青蜜柑 草原の 赤とんぼ 風さら 机上に三個 背に止まらせ と 青鷺 'ヒ 芒*本*! 村に ころびをる 本村 則 富と樫が おおやは

胸守、下沓、履に扇をかざして袖を翻し、事静かに舞い納めました。

と言って和泉式部に舞わせました。あでやかな衣と袴の上に簪、鬘、帯:

ていた夫の藤原保昌も社の陰で待っていました。巫女は「霓裳恋の舞を」

その夜に出雲路の社に連れだって参詣しました。 実は、このことを聞い

める神がおられます。お参りしてお祀りしましょう。」と言ったので、

無 人駅 降りて噛み締む 左遷

台風も 暑すぎますと 北コース 井。 上? 東端子:

《多久川柳会 互選》

ビリだけど 頑張った子に 金メダ 0) 寿命縮まる る地獄熱古賀が

柳

人間

いささかの 苦み含める 青柚子の

香りは嬉し 吸いも

信』 子:

愛と正義を 貫くために